

NEWSLETTER

明日に役立つ教育研究をめざして 課題研究の中間報告

先月号に続き、課題研究の進行状況を報告します。それぞれの学校・園の全面的なご協力を得て、これまでにない新しい試みや見えなかった子どもたちの姿が浮かび上がって来ました。年度末の、研究発表会にご期待ください。



「話すこと・聞くこと」領域における小中一貫学習指導計画の開発 研究員 西村 周

現在、子どもたちに「伝え合う力」を育てていくことが求められている中、小学校第1学年から中学校第3学年まで一貫した学習指導計画が必要だと考えています。本研究では、発達段階を三段階に設定し、小学校第5学年から中学校第1学年を第

期として「話すこと・聞くこと」領域の単元を取り上げ、目標の一貫性・内容の系統性・指導の継続性を踏まえた具体的な小中一貫指導計画を仁和小学校・北野中学校の研究協力員の先生方との協議のもとで作成し、実証授業に取り組みました。

仁和小学校では、「自分の意見をもつこと」「相手の立場に立って話を聞くこと」を目標にして計画的に話し合う活動に取り組みました。児童たちは文章を論理的に書き出しておいたことで、自信を持って意欲的に発言する姿が見られました。また北野中学校においては、「自分のものの見方や考え方を広くもって伝え合うこと」を目標にして、バズセッションや小集団学習などの授業形態を活かして取り組みました。生徒たちは、集団の規模を変化させていくことで積極的に発言し、論理的思考力を自ら高めていきながら意欲的に活動する姿が見られました。

報告書では、この実践事例の結果を踏まえ、さらに改善した上で具体的な小中一貫学習指導計画を提示します。

学習指導の改善のためのe-learning活用に向けて 研究員 中嶋弘行

教職員一人ひとりが「いつでもどこでも自主的・主体的に研修できる」ことを実現するためには、電子メディアを利用することが有効ではないかと考えています。今年度は、このためのコンテンツとして、指導案やワークシートなどを組み入れた授業ビデオセットの開発に取り組んでいます。

7月から9月にかけては、伏見住吉小学校6年生の協力を得て、国語の授業の撮影をさせていただきました。子どもたちが話し合いに積極的に参加しているのに、その声がきれいに収録できなかったりするなど、改めて授業を記録することの難しさを感じましたが、この授業を素材にして、学習課題の提示の仕方や学習を深めるための学級運営のポイント等を明示した研修資料にまとめ上げたいと考えています。短時間で内容の深い研修ができるための全体構成も検討し、効果的な編集の方法についても整理し、提示します。

共通話題で課題追求中



就学前教育と学校教育の連携・協力の充実をめざして 研究員 藤井万希子

小学校に入学した子どもたちが、とまどうことなく生き生きと学習したり活動したりできるように、就学前教育と学校教育との連携をより深めていくことをめざして研究を進めてきました。まず、7月から9月にかけて聚楽保育所・壬生保育所・改進黨保育所・竹田幼稚園にフィールド調査に入らせていただきました。保育所・幼稚園とともに、子どもたちの豊かな育ちをめざして工夫を凝らした保育・教育がなされていて、改めて、お互いの教育・保育を理解し合い、連携を深めることが子どもたちの豊かな育ちにつながることを痛感しました。

その上で、いまどのようなことに重点をおいた連携が大切なのかを探るために、小学校178校・幼稚園16園・保育所20所にご協力いただいて質問紙調査を実施し、考察を進めています。これらの調査結果をもとに、充実した連携を進めるための糸口を提案したいと考えています。

幼稚園の登園風景



保育所のサークルタイム



小・中学生の生活実態調査
子どもたちの休日の生活の
現状と支援の在り方
研究員 川田雅康

生活実態調査の2年次として、本年度は特に、子どもの休日の生活実態を客観的データとして示すことを第一の目的として、小学校14校・中学校10校、合計3,000人以上の子どもたちを対象に質問紙調査に取り組みました。調査にご協力いただきました学校の教職員の皆様には、大変お世話になり、ありがとうございました。

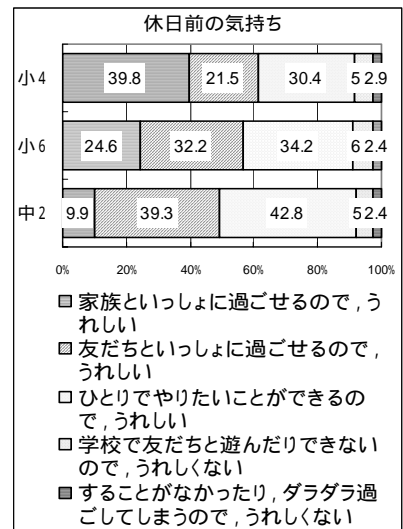
現在、調査票を集計中ですが、

その中の一部を紹介します。

右のグラフは《休日前の気持ち》を尋ねたものです。結果は小・中学生とも、90%以上が、休日を前にして何らかの期待感を持っているのに対して、10%は「うれしくない」と回答しています。では、こうした子どもたちの相違は、他のどんな意識や行動の違いから生み出されるのか、またどのような行動となって表れるのか、今後、他の設問とクロス集計して考察するなどし、子どもの行動や意識の実態に迫っていきます。

報告書では、こうした子どもたちの休日の過ごし方に対して、どのよ

うな支援が必要なのか提起していきたいと思えます。



平成16年度 教育研究発表会

平成17年2月26日(土)午後1時00分～ 会場：京都市総合教育センター

研究課が「明日に役立つ教育研究」をテーマに、関係各課と連携し、それぞれの研究協力校や研究協力員の先生方とともに進めてきた研究の成果を広く報告する本発表会も6回目となりました。年度末恒例の会となり、昨年度は、302名の市内教職員の方々に加え、他府県からも241名の方々のご参加を得ることができました。こうした皆様のご期待に応えられるように、今年度も、「参考になった」「考えさせられた」とお感じになっていただけるよう、充実した取組にしていきたいと思っています。詳細については、近日中に各校にご案内をお配りいたしますが、ぜひ、今からご予約ください。

カリキュラム開発支援センター

人権啓発充実のための特設コーナーを新たに開設

12月の人権月間での人権啓発の取組に向けて、このところ資料を求めてたくさんの皆さんが来所されています。そこで、より活用していただきやすくするために、センターがこれまで収集してきた京都市をはじめ全国各地から出されている成人を対象とした人権教育関係の資料をまとめた「人権啓発充実のための特設コーナー」を設置いたしました。

ぜひご活用ください。

なお、このコーナー以外にも、教材開発室には各地から出されている読み物教材や絵本、参加体験型のワークシートが掲載された冊子などを人権課題ごとに、色シールで分類して配架しています。

さらに情報資料室の人権コーナーの書架には、それぞれの人権課題についてのさらに深い研修のための図書も含めて、総数200点以上を配架しています。

あわせてご利用ください。

*11月、12月の土曜開室(第2,第4土曜日)は

11月27日、12月11日です。(午前9時～午後5時) 12月25日は閉室します。

